【課題10】端についた回数を数えよう。(変数の利用)

変数を作る をクリックします。

これまでのプログラム課題9(上右図)をさらに変更し、端についた回数を数えてみましょう。 課題9をコピー保存しておきます。

これを行うには、左のメニューの中から 変数 カテゴリーを選びます。

すると、下の新しい画面が表示されます。最初に変数を新しく定義する必要があります。



変数名は何でもいいのですが、ここでは 「回数」 としておきましょう。「回数」とタイプ入力し、 「**すべてのスプライト用**」にチェックが入っていることを確認して、 **〇**K をクリックします。

新しい変数 🗙
新しい変数名:
回数
● すべてのスプライ ■ このスプライト ト用 のみ
キャンセル ОК

すると 回数 の左にチェックがついて表示され、ネコのいる左の画面の左上に 回数 0 と表示さ





このチェックをはずすと、ネコの画面の表示 も消えます。

チェックしていると、回数がそのつど変化し ます。

- このブロックをプログラムに加えていきましょう。
 - まず動き始めた時には、回数 を 0 にしておきます。
 - ② 端に触れた時の回数を数えるのが目的ですから、このプログラムではもし、端に着いたら、跳ね
 返るの下に回数を1ずつ加えるのブロックを置けばいいような気がしますね。それを加えてからプログラムを実行してみましょう。
 確かに回数がどんどん増えていますが、よく見ると端に触れないのに回数が増えており、このプログラムは誤っていることがわかります。どこがおかしいか考えてみましょう。

実は、このプログラムではコスチュームが変わるたびに回数が 増えていることになっているのです。

それでは、正しいプログラムにするにはどうすればいいでしょ うか。

考え方としては、「端に触れた時だけの回数をカウントする」 ということになります。

プログラム的に考えると、

「もし、端に触れた時」

「回数を1ずつ加えていく」

ということになします。





新しい命令をとりあえず別の所に作ってみましょう。





- - ④ 最後に先ほど加えていた回数を1ずつ加えるのブロ ックを除いておきます。

制御

調べる

⑤ もとのコードの 回数を1 ずつ変える から下のブロッ クを分離する。



- し
 端<に触れた なら</td>

 回数
 を

 回数
 を

 1
 すつ変える

 ちし
 スペース・キーが押された なら

 終わるまで
 ニャー ・

 の音を鳴らす
 すべてを止める ・
- ⑥ もしスペースキーが押されたなら から下を もし端に触れたら の下につなげる。

- ⑦ 0.2 秒待つ の下に入れれば完成
- ⑧ プログラムを実行して動作を確認しましょう。

